

Jはラウド。100Wrmsのスタックブルベースアンプ。バックステージにはえる精悍なブラックフェイス。

J-100B

時にはヘヴィに、時には軽い気持で、ライブパフォーマンスにズシッ。重量感たっぷり100Wrmsベースアンプヘッド。

¥70,000

ライブにこそ最高力量を発揮する100Wrmsスタックブルタイプアンプヘッド。FET半導体を使用し自然なアタック感を実現。3バンドトーンコンに加え、超高域を

持ち上げラウンド弦の微妙なニュアンスまで抽出するブライントコントロールも。比類なき高耐久性と的確なレスポンスでプロの要求に対応するベースアンプ。

パワー：100Wrms(200 peak) @4-8Ω
インプット：1ch 2in(HIGH, LOW)
入力感度インピーダンス：HIGH(-30dB/1MΩ), LOW(-14dB/136kΩ) @0dB=0.775V, VOLUME & TONE CONTROL max. BRIGHT & DISTORTION off. at 1kHz
アウトプット：TO SPEAKER(phone jack)×2, REC OUT(phone jack)

マッチングスピーカーインピーダンス：4-8Ω
フットスイッチジャック：DISTORTION
コントロール：VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE, BRIGHT, DISTORTION
定格電源電圧・周波数：100V/50/60Hz
定格消費電力：80W
サイズ：70.5W×21.2H×30.0Dcm
重量：15kg
付属品：VINYL COVER, FOOT SWITCH



ベース専用38cmドライヴァーJA3802Bとバックロードホーンエンクロージャ。縮まったサウンドの入力240Wrmsボックス。

J-110L

¥75,000

許容入力：120Wrms
インピーダンス：8Ω(2台並列接続可)
スピーカー：38cm(JA3802B, 8Ω)×1
エンクロージャ：BACKLOAD HORN TYPE
サイズ：70.8W×82.5H×38.0Dcm
重量：40kg
付属品：VINYL COVER, CASTOR



迫力の重低音、抜群の指向・遠達性。38cmJA3802Bを2本マウントした

ヘヴィデューティな入力240Wrmsボックス。

J-120L

¥110,000

許容入力：240Wrms
インピーダンス：4Ω(2台並列接続不可)
スピーカー：38cm(JA3802B, 8Ω)×2
エンクロージャ：BACKLOAD HORN TYPE
サイズ：70.8W×107.5H×38.0Dcm
重量：55kg
付属品：VINYL COVER, CASTOR



SYSTEM-7

J-100B + J-110L × 1
¥145,000

タイトでアタキにリズムキープ。解像力も指向性も遠達性も充分。スタックブルタイプならではのパフォーマンス。



SYSTEM-8

J-100B + J-110L × 2
¥220,000

この威容を見てくれ。まさに圧巻。3段積スタックに秘められたパワー。数々の聴衆をも熱狂させてしまう。



SYSTEM-9

J-100B + J-120L × 1
¥180,000

38cm2本の底力が体に伝わってくる。余裕のパワーと抜群の遠達性。翳ぶか、ベース。



ロウノイズ、ロウディストーション、そしてワイドレンジ。Eは単なるディレイの域を越えるマルチプルギア。

E1005

エコー、コーラスからビブラートやフランジングまでマルチプルなエフェクト。ロウノイズ、ワイドレンジを誇るアナログディレイ。

¥65,800

E1005は信号遅延素子BBDを用いたアナログディレイ。エコー効果はもちろん、テープ式エコーでは不可能な1/1000秒単位の短いディレイタイムに設定できるからコーラス効果やダブルボイス効果も。さらにディレイ音をモジュレーションすることでビブラートやフランジング効果までも。ロウノイズ、かつワイドレンジ。単なるディレイマシンの枠を越えるマルチプルでエフェクティブなギア。



全高調波歪率：DIRECT 0.3%以下(-10dB/10KΩ, 20Hz-20KHz, OUTPUT), DELAY 3%以下(-10dB/10KΩ, 1KHz, OUTPUT)
混交調波歪率：DIRECT 1.0%以下(-10dB/10KΩ, 70Hz-7KHz=4:1, OUTPUT), DELAY 5%以下(-20dB/10KΩ, 70Hz-7KHz=4:1, OUTPUT, DELAY short range)
周波数特性：DIRECT 20Hz-20KHz+1-3dB
ノイズレベル：DELAY-80dB(INPUT A max, B min)
インプット：INPUT A(MIC-50dB/25KΩ, INST-30dB/500KΩ),

INPUT B(MIC-50dB/25KΩ, INST-30dB/500KΩ) @0dB=0.775V
アウトプット：OUTPUT(-20dB/250Ω), DELAY ONLY(-20dB/250Ω) @0dB=0.775V
フットスイッチジャック：DELAY(ON/OFF)
コントロール：INPUT A VOLUME, INPUT B VOLUME, INPUT LEVEL SW(MIC/INST), DELAY, DELAY TIME, RANGE SW(SHORT 4msec-9msec/LONG 65msec-400msec),

FEEDBACK, MIXING, MODULATION SPEED, MODULATION FREQUENCY.
定格電源電圧・周波数：100V/50/60Hz
定格消費電力：8W
サイズ：39.6W×9.5H×21.3Dcm
重量：3.6kg

COLUMN 7：アナログディレイを使えばこんな音が簡単に作れてしまうという話。

4つの代表的効果を例にとって、アナログディレイE1005のマルチプルエフェクターを詳しく紹介しよう。上のE1005の写真をながら読んで欲しい。

エコー：最も基本的なアナログディレイの使い方。DELAYすなわち遅れ時間コントロールは6以上。DELAY TIME RANGE SWをLONG側にし、200m-400msec程度の遅れ時間が得られるようにする。ダイレクト音とディレイ音の音量バランスを決めるMIXINGコントロールは1目盛ダイレクト音寄り0.4ぐらい。エコーの場合ダイレクト音の方が大きくなければならないからだ。MODULATIONは使わない。この状態でFEEDBACKつり応答回数コントロールを変えると、いろいろな種類のエコー効果が得られる。1以下では応答1回のシングルエコー。4-7ではノーマルなエコー。そして8以上では永久に鳴り続け、次第にディレイ音がディストーションするリピーターエコーが得られる。

コーラス：電子式ディレイマシンならではの使い方。DELAYはMIN-1。DELAY TIME RANGE SWをLONGにする。つまり、65m-80msecぐらいの遅れ時間にセットするわけだ。

FEEDBACKはMIN-1ぐらい。応答回数が1回のポジションにする。MIXINGは5以上にする。ダイレクト音に対して、同等な音量で少し遅れたディレイ音をつけ加えることになる。ソロディレイをあたかもツイーンリードのユニゾンプレイであるかのように聞かせることができる。これがいわゆるダブルボイス効果だ。さらにMODULATION SPEEDを4以下。MODULATION DEPTHを3ぐらいにセットして、ゆっくりとした浅いピッチ変動をディレイ音に与えてみよう。すると、プレイしている人数がさらに増える。これがコーラス効果だ。

ビブラート：これも電子式ディレイならではの使い方。ディレイ音のみを取り出し、それにピッチ変動=ビブラートをかけるわけだ。DELAYはMAX。DELAY TIME RANGE SWはSHORT。FEEDBACKは0付近。MIXINGは10のDELAY側にしておくとMODULATIONをセットするのめだが、ビブラートひとつにも実にいろいろな種類がある。例えばSPEED 5-7。DEPTH 1ぐらいではノーマルなファンジャービブラート風。コードを弾けばトレモロペダルのかわりも果たしてくれる。今度はDEPTHを3ぐらいまで上げてみよう。するとシンセサイザーのベンディングのような極端なビブラートになるではない

か。さらに、思いきってSPEEDを10、DEPTHも10に上げてみよう。音程感がなくなってリングモジュレーターのような効果が得られるというたぐいだ。

フランジング：これはアナログディレイの極致だ。ダイレクト音に対して、ビブラートをかけたディレイ音をつけ加えるだけでいい。ディレイ音がビブラートしているということは、結局、ダイレクト音に対してフェイズシフト(位相変動)していることにもなるわけだ。これにも実にいろいろなバリエーションがある。FEEDBACKを7、MIXINGを5にし、DELAY TIME RANGE SWをSHORTにするのが基本。残ったDELAYとMODULATIONの組み合わせで楽しむ。例えばDELAY 3、MODULATION SPEED2、MODULATION DEPTH 9ぐらいではフェイズシフター風のコーラス効果。そのままSPEEDを5-8に上げればロータリーアンプにも似たトレモロ効果。DELAYを6ぐらいにまで上げSPEEDを下に下げれば、いわゆるフランジャー風になってしまふ。あとは個人個人のイメージに任せていい。エレキギターを使ってもエレキギターとは思えないような特殊効果音が出てくる。こんな面白いギアをばっおおく手はない。

E1010

ディレイタイムは5レンジで微調整。フランジング効果を作るモジュレーションも。フィデリティを追求したプロフェッショナルのためのアナログディレイ。

¥108,000



E1010はBBDを用いたディレイマシン。ディレイタイムはレンジ切り換えスイッチと連続可変の微調整コントローラーの両方で制御。3msec-300msecの範囲で自由かつ正確に設定できるから、エコーもリバーブもダブルボイス効果も思いのまま。加えてビブラートやフランジング効果の得られるモジュレーション機能も。多彩な機能を信じられないほどのハイフィデリティで実現した高級機。

全高調波歪率：DIRECT 0.1%以下(-10dB/10KΩ, 20Hz-20KHz, OUTPUT), DELAY 2%以下(-10dB/10KΩ, 1KHz, OUTPUT)
混交調波歪率：DIRECT 0.5%以下(-10dB/10KΩ, 70Hz-7KHz=4:1, OUTPUT), DELAY 3%以下(-20dB/10KΩ, 70Hz-7KHz=4:1, DELAY 10msec)
周波数特性：DIRECT 20Hz-20KHz+1-3dB, DELAY 30Hz-8KHz±3dB(DELAY 10msec)
ノイズレベル：DELAY-87dB(INPUT, MIXING VOL. max)
インプット：INPUT(-30dB/800KΩ)×FRONT & REAR @0dB=0.775V
アウトプット：OUTPUT(-20dB/250Ω)×FRONT & REAR,

OPTIONAL OUTPUT DIRECT ONLY(-20dB/250Ω) @0dB=0.775V
フットスイッチジャック：DELAY(ON/OFF)
コントロール：INPUT VOLUME, MIXING VOLUME, BASS(70Hz±12dB), TREBLE(7KHz±12dB), DELAY, DELAY TIME RANGE SW(3m-10msec/25m-75msec/50m-150msec/75m-225msec/100m-300msec), FEEDBACK, MODULATION FREQUENCY, MODULATION DEPTH
定格電源電圧・周波数：100V/50/60Hz
定格消費電力：8W
サイズ：48.0W×9.3H×24.3D(19インチ標準ラックサイズ)
重量：4.5kg